

ラテンアメリカの研修員が宇佐市と日田市で 地域産業の活性化を学びます

ラテンアメリカは、都市と地方の開発格差が存在し、大きな問題を抱えています。その問題の解決には、地域産業を活性化させることが重要となっており、地域の特色を活かした産業に価値を生み出す必要性があります。

8月31日から始まった本研修は、各国行政や自治体等の産業振興担当者が講義や実習、見学などを通して日本の地域における地域の特色を活かした産業振興の事例を学び、研修員たちの母国の産業に貢献できる人材を育成し、彼ら自身が地域産業活性化の担い手となって、地域産業の発展に貢献することを目指しています。

特に、9月18日（水）には地域の気候、風土の特色を活かした産業振興に取り組む中小企業の事例を学ぶため大分県宇佐市、日田市を訪問します。是非、取材をご検討ください。

○研修コース名：地域の特色を活かした産業振興(B)

○研修期間：2019年8月31日（土）～2019年10月3日（木）

於 JICA 九州センター 他

○研修参加国（8か国・9名）：アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、キューバ、エクアドル、エルサルバドル、ニカラグア、パラグアイ

○取材対象日程：（取材申し込みは、以下問い合わせ先までご連絡ください）

講義・視察先	日時	場所
葡萄酒工房見学	9月18日（水） 9：30～10：45	三和酒類（大分県宇佐市 安心院町下毛798）
農協による地域振興	9月18日（水） 13：00～14：30	木の花ガルデン（大分県 日田市大山町東大山 274-1）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 研修業務課 中野、林
 TEL: 093-671-8347 FAX: 093-671-0979